

No.1968

6月27日例会 プログラム 「慰労会」 ダイヤモンド瀬戸内マリンホテルに於いて

7月4日例会 プログラム 「本年度クラブ活動運営方針」 緋田会長 高橋(秀)幹事

6月27日のメニュー ・卓上ビュッフェ

前回(6月20日)例会記録

出席報告	会員総数	36名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	21名	欠席者数	13名	出席率	61.76%	前回補正率	76.47%
	前回補正者	緋田君 岸本君 小野田君 白石君 高橋(征)君 谷口君 榎田君								
	欠席者	藤田君 藤原君 花岡君 石川君 井上君 三宅(孝)君 仲田君 中山君 大久保君 小野田君 谷口君 榎田君 山田(次)君								

会長挨拶

先週、自然災害が多く不気味だとお話しましたが、その翌日14日に今度は日本で地震被害がありました。一日も早い復興を願うものです。この一年間の私の挨拶を振り返って見ますと、楽しい話題が少なかったようです。特にこの1、2週間は悲惨なニュースで持ちきりでした。私の挨拶も残り少なくなりましたので、今日は楽しい希望にあふれた話題にしたいと思います。

まず、渋川海洋博物館に、マゼランペンギンの赤ちゃんが生まれて、もうすぐ一般に披露されるそうです。渋川海洋博物館でのペンギンの誕生は26年ぶりだそうです。もう一つ、昨年兵庫県豊岡市でコウノトリが巣立ちましたが、今年も数羽の巣立ちがありました。これはどちらも嬉しいニュースです。

もう一つの嬉しいニュースは、6月1日に打ち上げられたディスカバリーに乗り組んだ、星出彰彦宇宙飛行士が、6月4日国際宇宙ステーション(ISS)のロボットアームを操作して「きぼう」船内実験棟をISSに無事結合設置に成功し、そして機材の運び込み、設置も順調に終わり、無事地球に帰還しました。いよいよ「きぼう船内実験室」が動き出します。日本の宇宙実験室での成果を大いに期待しましょう。

会長報告

- ・退会届の件：山本 勇一会員、藤原 侃会員、浅羽 敬之会員、中山 和会員より今期末をもって退会したいとの届けが出ています。

幹事報告

- ・玉野まつり振興会より玉野まつり協賛金のお願いが届いています。
- ・玉野まつり花火部会開催の案内が届いています。(6/24 15:30~)
- ・鳥居ガバナー・エレクト事務所よりGSE地区委員会開催の案内が届いています。(6/28 13:30~15:00)
- ・新見RC 7月1日より事務局及び例会時間・例会場の変更ご案内。
- ・『友』インターネット速報No.338が届いています。
- ・(財)ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま100」が届いています。
- ・来週の例会はダイヤモンド瀬戸内マリンホテルにて19:00より行いますのでお間違えのない様お願いします。
- ・他クラブの週報・例会変更通知は回覧いたします。

委員会報告

- ・社会奉仕委員会(三宅(保)委員長)：8月2日(土)玉野まつりにて例年通りチャリティバザーを行います。ついては5,000円程度の品物を奉仕していただきたく7月15日頃までをお願いいたします。

スマイル・ボックス

- ・松尾君 - 本日、卓話をさせていただきます。
- ・島田君 - 岡さんありがとうございました。 石川さんありがとうございました。 名鑑持ち帰り。 前回欠席。
- ・宮原君 - 松尾会長、1年間お疲れ様でした。
- ・緋田君 - 前回欠席。 ・立石君 - 早退。 ・高橋(征)君 - 前回欠席。

プログラム 「任期を終えて」 松尾会長

玉野ロータリークラブの皆様、この一年間のご協力本当に有難うございました。心より御礼を申し上げます。一昨年、お話があった時に“ロータリーの経験の浅い私が”と悩みましたが、皆様のご協力、ロータリーの友情のお蔭で、何とか無事に任期を終えることが出来そうです。今年は、我がクラブの創立40周年という記念すべき年でありました事も、むしろ私にとりまして、とても光栄だと心より感謝いたしております。

今年度の国際ロータリー会長ウィルフリッド・J・ウイルクソン氏は、テーマを”ROTARY SHARES”、“ロータリーは分かちあいの心”を掲げられました。ロータリーは分かちあい、ロータリーを分かち合おうと解釈いたしました。“分かちあいの心”には次の三つの意味が含まれております。まず第1は、分かち合うということは自分自身にとって必要でないものを分かち合うのではなく、相手が必要としているものを分かち合おうという意味です。第2は、問いかける、つまり生活の中で絶えず、自分は誰かに何かを分かち合ったか？を自問自答繰り返すことです。第3は、感動を経験することです。ロータリーは行動の哲学であり、感動は行動を起こします。感動を覚えたロータリアンはその感動を友人に伝えてロータリーの感動を分かち合うのです。私も、いくつかのロータリーのセミナー、委員会に出席させていただきましたが、それぞれにやはり何か感激するものがありました。とにかく、まず参加することで何かを得ることがあり、何かの感激も得ることができず。

国際ロータリー理事、渡辺好政先生は40周年の祝辞の中で「ロータリーの初心」について述べられています。ロータリーの初心には4つあり、その第1は1905年、シカゴにおいてポール・ハリスら4人がロータリーを創始した時、第2は、1920年、日本最初の東京ロータリークラブが設立されたこと、第3には、1968年5月24日、玉野ロータリークラブが設立されたこと、そして第4として、最も大切なのは、会員の皆様が何かの縁があって玉野ロータリークラブに入会された時であります。ロータリー創立記念日、玉野ロータリー創立記念日、そして皆様のロータリー入会記念日に、そして新しい年度初めにはもう一度初心に帰る思いを持ちたいものです。

今年度は、8月3日に小西忠孝第10グループガバナー補佐の訪問があり、クラブアッセンブリーを開きました。そして8月24日、森下和郎ガバナーの公式訪問がありまして、ウィルフリッド・J・ウイルクソンRI会長の年度テーマと目標、森下ガバナーの目標・方針の指導をいただきました。

RI会長の年度テーマ”ROTARY SHARES”は先ほどお話ししました。年次強調事項としては、水保全、つまり環境問題にも繋がります。保健及び飢餓救済、現在の食糧危機は益々重大になってきています。識字率向上、ロータリー家族の4つでした。森下和郎ガバナーの年次目標は、会員増強、年次寄付一人当たり140ドル、ロータリー家族をあげられました。

我がクラブの本年度の活動を振り返ってみます。会員増強に関しましては、2月に天満屋ストア玉野店店長の宮本忠幸君が転勤、新しく岡 眞司会員の入会でプラスマイナスゼロでした。残念ながら増員はできませんでしたが、次年度初めに1名増の予定です。しかし、残念ですが今年度末での退会届が4名出ています。年次寄付では、皆様のご協力により、目標の140ドル以上を達成、144.98ドルを寄付いたしました。本年はポリオプラス・ボックスを例会で回覧させていただき、7月から10月で32,149円、11月から2月で37,017円集まりまして、年次寄付とポリオプラスに廻しました。3回目のボックスは本日で回覧を終わらせて頂きます。集計は後ほど財団委員長より追加発表していただきます。

ロータリー家族につきましては、クラブの基盤強化には、会員そしてロータリー家族との親睦交流が最も大切として、本年度の強調事項とし、特に親睦委員会をお願いしました。7月15日には、家族バス旅行で総社市の「サンロード吉備路」に連れて行っていただきまして、温泉とご馳走とカラオケを楽しみました。次いで、8月には権太茶屋で納涼家族例会があり、手品などを見せていただきました。9月にはここ瀬戸大橋にて観月家族例会を開き、「ふじた伝三郎太鼓」に拍手を送りました。11月30日には、マリンホテルにて忘年家族例会があり、石川シェフの指導でテーブルマナーの講習をして頂き、シェフご自慢のディナーをご馳走になりました。そして、5月24日の40周年記念式典に、会員奥様方にご出席いただき、会員と家族一体となって式典のお手伝いをしていただきました。式典の後の祝宴にて一緒にお祝いしました。会員と家族が一緒になって記念式典を成し遂げましたことが大変に意義のあることであります。奥様方の一生懸命のご協力にこの場をお借りして御礼を申し上げたいと思います。ロータリー家族の支えの有り難さを改めて感じました。ロータリー財団では、ポールハリスが1名あり、年次寄付は目標以上の一人当たり144.98ドルを達成、ポリオプラスに315.28ドル(中間報告)を寄付できました。米山功労者は、渡邊米山委員長のご努力で白石会員と渡邊会員と私の3人が協力できました。社会奉仕では、宇野港桜公園の清掃活動に3回行きました。玉野ロータリーの桜も見るたびに大きくなっていました。数年後が楽しみです。エコライフ玉野の活動支援に、竹酢液回収装置を贈りました。地球環境問題、温暖化防止などの問題は我がクラブも避けては通れない大事な問題です。職場訪問は、12月に「駅東創庫」を見学しました。クラブの備品購入としましては、プロジェクター1台とスクリーンを購入いたしました。皆様の卓話に大いにご利用してください。

友好クラブの大阪リバーサイドRCとの交流は大切な目標でした。1月に創立記念式典の案内を兼ねて例会訪問いたしました。9人で参加いたしました大歓迎を受けました。そして、記念式典には、17名もの皆様が遠路参加してくださいました。

今年度の最大の事業はなんとと言っても、創立40周年記念事業、記念式典でした。藤田尚徳実行委員長のもとに、約1年前より準備が始まり、役割分担をまず決めまして、昨年6月第1回目の実行委員会を開き、その後実行委員会を何度も繰り返しながら、三宅照正式典委員長、岸本昌法記念事業委員長、近藤勇進祝宴委員長、大西正高記念誌委員長を中心に着々と準備され、全会員と家族一体の協力で、盛大にそして厳粛に、成功裏に挙行できました。まず、玉野ロータリークラブの40年の歴史、先輩方の活動、業績を振り返って、DVDに編集いたしました。40年間のアルバムを開いての編集に時間がか

かりましたが、良い内容に出来上がったと思います。同時に、来賓、招待者の人選、案内状の作成、印刷、発送を夜遅くまで頑張られた藤田委員長のご協力には感心いたしました。感謝いたしますとともに頭の下がる思いです。記念事業では岸本委員長のもとで、1つには、玉野市内7中学校と私立総合体育館に計8台のAED(自動体外式除細動器)を贈呈しました。早速、順次中学校の先生方の救急蘇生講習会が始まっております。黒田市長から、実にタイムリーな贈り物だと感謝いただきました。もう一つは、宇野港緑地公園に、玉野の海の玄関口にふさわしい「方舟モニュメント」を設置いたしました。玉野市民の憩いの場になると期待しております。更に来年の良い季節に大島桜2本の植樹を予定しております。式典には、岡山県知事の代理として、藤沢賢志岡山県備前県民局長、黒田晋玉野市長、三宅照正玉野商工会議所会頭、はじめ地区内の来賓、ロータリーからはウイルキンソンRI会長のメッセージを頂き、渡辺好政RI理事、森下和郎ガバナー、延原正パストガバナーはじめ、近隣のロータリー、更に大阪リバーサイドRCから17名のご出席を頂き、総勢140名ものご出席となりました。式典の中で、チャーターメンバーとして創立以来40年間玉野ロータリーを引っ張ってこられました、山本勇一会員と藤原侃会員に感謝状と記念品をお贈りさせていただきました。そして、2005-2006年度のガバナー補佐を勤められました白石富喜太会員に感謝状、第31代から40代会長に感謝状、出席100%会員に表彰状を贈りました。近藤勇進会員の24年間皆勤、小野田元男会員の19年間、白石富喜太会員の18年間、藤田尚徳会員の15年間、三宅保昭会員の12年間、三宅一昌会員の10年間、三宅照正会員の9年間、渡邊正俊会員の8年間、槌田正則会員の5年間の9人です。1年でも皆勤は大変ですが、大変なご努力だと敬意を払います。事務局の近俊比子様には永年勤続の表彰と記念品をお渡し致しました。

最後になりましたが、この1年間、そして創立40周年記念行事にご協力いただきました、会員の皆様とファミリーの皆様には心から御礼感謝を申し上げます。特に、谷口康則幹事には何かとお助け頂き心より感謝申し上げます。また、緋田秀雄副会長はじめ、理事役員の皆様、各委員長様、そして会員の皆様にも私の至らないところを助けていただき、心より御礼申し上げます。そして、40周年実行委員長の藤田尚徳会員には、きめ細かな準備で式典を立派に成功されましたことに心から御礼を申し上げます。次年度緋田会長、高橋幹事様には、健康に留意され、ご活躍をお祈りいたしまして、私の1年間の報告と御礼とさせていただきます。